

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興

2 地域再生計画の作成主体の名称

砂川市

3 地域再生計画の区域

砂川市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

砂川市は毎年200名以上の人口減少が進んでおり、商店等の閉店も顕著であり、市内経済、特に中心市街地の活性化が求められている。また、砂川市の平成27年度観光入込客数は、前年度比6.9%減の126.7万人となったことから、砂川市の魅力を十分に紹介し、ここでしか体験できないプレミアムな女子旅を提案する観光コンテンツの開発が急務である。

砂川市を横断する国道12号は、札幌と旭川を結ぶ基幹道路であることから交通量は多く、平成27年度には砂川SAスマートインターチェンジが開通し、さらに交通の便が良くなったが、砂川市を訪れる観光客の多くは、高速道路と連動した砂川ハイウェイオアシス館に立ち寄り休憩やお土産を購入するが、高速道路を下りてまちなかを回遊する観光客の数は非常に少なく、いかにしてまちなか回遊に繋げるかが課題である。また、JR北海道の特急が30分に1回止まり、札幌まで50分で行ける立地条件を活かし、札幌圏の若い女性をターゲットにJRとタクシーを使った少人数の女子旅の提案を若い女性目線で策定するため、市内や近隣市町からスイート応援団になる若い女性の人材発掘や組織作りが求められている。

これらの問題解決と並行して、現在の通過型観光から滞在型観光を目指

すため、宿泊施設が少ない砂川市は近隣市町と連携し各市町の観光コンセプトやブランド力を融合させた魅力的な広域観光の取組の検討が課題である。

4-2 地方創生として目指す将来像

砂川市は、国道12号沿いに和洋の味わいもバラエティに富んだ美味しいスイーツが揃う菓子店が点在するスイートロードとしてまちのブランディングを進め、平成14年5月にお菓子でまちを元気にしようと官民協働で「すながわスイートロード協議会」を設立、平成27年12月に「すながわスイーツ」で道内第1号のふるさと名物応援宣言を行った背景から、「スイート」の意味である心地よい、うれしい、美しいなどに関連した美と健康をテーマに、札幌圏からの若い女性をターゲットにした少人数の「女子旅」の旅行商品やスイーツの開発などを行い、地域住民にとっても観光客にとっても心地よいスイートなまちづくりを目指すものである。

砂川市には、菓子店やカフェが19店舗、パークチャップを提供する飲食店が21店舗ある他、地域の中核病院である砂川市立病院、人口一人当たりの都市公園面積日本一と言われる多数の公園、こだわりの物づくり企業など、観光コンテンツとなる地域資源が多数あることから、官民協働で砂川の魅力を発信する旅行商品や農工商連携による美と健康を考えたスイーツの開発、販売などを推進し、すながわスイーツのブランド力向上を図り、砂川市に観光客を呼び込み観光振興を図る。また、若い女性を対象とした女子旅の提案は、札幌圏に限らず、道外やインバウンドのニーズにも合致するものであり、地域住民や観光客がSNSを使った発信をしたくなるような「かわいい」「すてき」をコンセプトにすることで、地域住民や観光客自らが情報を拡散する仕組みを作り、友人や家族などへのお土産消費にも繋げる。

スイートロード協議会が事業の実施主体となり、美と健康を考える女性団体やクリエイター、インバウンド受入協議会、市民ボランティアなどの観光事業を自ら推進する民間団体や個人をスイート応援団として位置づけ、官民協働で地域と一体となった砂川市の観光コンセプトを確立させるとともに、中空知における広域観光DMOの設立を目指す。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
観光入込客数 (人)	1,234,000	10,000	20,000	78,000
砂川スイートロード協議会主催事業 参加人数(人)	1,335	100	150	215

	KPI増加分の累 計
観光入込客数 (人)	108,000
砂川スイートロード協議会主催事業 参加人数(人)	465

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

観光コンセプト策定のための勉強会やおもてなし観光を考えるワークショップを通じて、ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光コンテンツの発掘やスイーツの新商品開発などを実施することで、すながわスイーツのブランド力向上を図り、観光客を呼び込む体制を整備し観光振興を図る。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金(内閣府):【A3007】

① 事業主体

砂川市

② 事業の名称:ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興

③ 事業の内容

平成28年度に、中小企業基盤整備機構から講師を招き砂川市の観光を考える勉強会を開催し、地域資源の掘り起こしを行い砂川市の観光コンセプトを作成した。その結果を受けて作成した事業計画の検証と実施主体となるスイートロード協議会の自走に向けた取組支援などのワークシ

ヨップをスイートロード協議会やスイート応援団、行政職員などを対象に官民連携で開催する。また、広域観光DMOの設立に向けて会員として加入し、近隣市町と連携し各市町の観光コンセプトやブランド力を融合させた魅力的な広域観光の取組の検討により、広域観光DMOの設立を目指し、通過型観光から滞在型観光への移行を図る。

スイートなまちづくりに向けたボランティア登録制度として、スイートロード協議会が認定基準を設け「スイート応援団」を認定し、各種事業への参加協力などを依頼する。スイート応援団は、団体や個人を対象とし、スイートロードマークのついたトートバックを配布し、そのバックを持って活動することでスイート応援団の存在の周知やPRを行いながら、スイートなまちづくりのコンセプトにあった事業を自主開催する。その際、スイートロード協議会会員の協力や広報活動などの支援を受けることができる。

まちづくりの専門家を講師に招き、砂川のおもてなし観光を考えるワークショップを継続的に開催する。対象は、スイートロード協議会会員、スイート応援団、サービス業などの事業者、一般市民として、観光資源の掘り起こしからはじめ、魅力的な観光マップの在り方や若い女性をターゲットとした旅行商品の開発、自転車レンタルの仕組みづくりや自転車観光ルートの検討などを行い、砂川市の観光の広報宣伝活動の基礎づくりを行う。ここで出された意見をまとめ、観光マップやポスターの作成、旅行雑誌の掲載、ドローンを使った映像の活用を図る。

札幌圏からの若い女性をターゲットとした「1万円女子旅」を旅行会社と連携し旅行商品として売り出す。砂川には、1万円選書で有名ないわた書店があることから、その事業と融合し、観光客に「旅カルテ」の記入をお願いし、個人のニーズにあったあなただけのプレミアムな1万円女子旅を提案する。そのために、若い女性目線で多様なニーズに対応可能な魅力的なコンテンツの開発を検討するおもてなし観光ワークショップを開催し、スイート応援団となり活動する人材の発掘や組織づくりを進める。

砂川の農産物等を使用し、フードコーディネーターや高校生、農業者、スイート応援団、カフェ経営者などと連携し、若い女性をターゲットに美と健康や見た目の「かわいい」をテーマとしたスイーツの新商品を開発する。開発したレシピはカフェや飲食店、菓子店等に公開し、各店舗において個性ある商品化、販売を推進するとともに、スイートロード協議会が運営するホームページのネットショップでの販売を行う。また、スイートロード協議会が主催する菓子店やカフェのスイーツが一堂に集

まるお菓子のお祭り「スイーツフェスタ」やお菓子づくり教室などを通じて、新商品の紹介、販売、レシピ公開を行い、家庭や地域にも普及させることで、子どもの頃から親しみのあるすながわスイーツとして定着させる。

インバウンド受入協議会が台湾の人気ブロガーを招き、台湾の観光客をターゲットとした魅力ある旅行商品の開発など、インバウンド事業の実施を行うため、市は補助金を支出し支援する。また、砂川市には、北海道唯一の義士会があり、北泉岳寺に義士墓があることから、毎年市民が義士パレード等を行う義士祭を開催し、61年続く砂川の冬の風物詩となっている。その背景から、昨年実施したインバウンドモニターツアーのメニューに義士体験を取り入れ好評であったことから、市が義士(侍)の衣装の整備を図り無償で貸し出すことで、インバウンド事業推進の支援を行う。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

現在のスイートロード協議会の機能をさらに強化し、スイート応援団とともにスイートなまちづくりを進める総括的組織として官民連携で事業を行い、観光客を砂川市に呼び込み、菓子店やカフェ、商店街などが稼ぐ仕組みを作る支援を行うことから、主催事業にかかる経費の一部は市が補助金で支出し、観光全般にわたる広告宣伝費や講師謝礼は市の一般財源で担う。

スイートロード協議会の自主財源としては、スイートロード協議会が主催する1万円女子旅やスイーツフェスタ、新商品のPRなどを行う広報紙やSNSの発信にかかる経費を掲載企業から協賛金を募り財源とする。また、自転車のレンタル収入やふるさと納税返礼品業務の一部請負、ネットショップの掲載事業者より手数料を徴収し運営費の財源とする。

【官民協働】

砂川商工会議所、砂川観光協会、砂川商店街連合会、砂川青年会議所、消費者協会、北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル砂川、砂川菓子組合、市内のカフェなどで構成する「スイートロード協議会」や女性団体、クリエイター、インバウンド受入協議会、農業団体、市民ボランティアなどで構成する「スイート応援団」などと行政が一体となって、砂川市の魅力再発見や地域の課題の分析調査を行い、砂川

市の観光コンセプトを検証し、観光客を呼び込むための効果的なプロモーションを官民協働で実施する。

【政策間連携】

砂川スイーツのブランド力向上を図ることで、観光客の受け入れ体制の整備や農商工連携による新商品の開発などを総合的に推進する。また、スイート（心地よい等）なまちづくりには、移住定住や子育て等も関係することから、政策間の連携も深めていく。

【地域間連携】

中空知地域における広域観光DMO設立を目指し、平成29年度から「滝川砂川着地型観光推進協議会（仮称）」を設立し、その会員として「スイートロード協議会」が加入予定である。また、近隣市町と連携し各市町の観光コンセプトやブランド力を融合させた魅力的な広域観光の取組を推進し砂川市や観光協会、他の民間企業等も加入することで、地域間連携を深めていく。

【その他の先導性】

スイートロード協議会をはじめとする、地域住民で組織する任意団体が様々な取組みを活発に行っており、コンパクトなまちであることを活用し、観光コンセプトを見定めることで、地域と一体となって同じ意識のもと観光事業を進める体制の整備を図ることができる。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
観光入込客数 (人)	1,234,000	10,000	20,000	78,000
砂川スイートロード協議会主催事業 参加人数(人)	1,335	100	150	215

	KPI増加分の累 計
観光入込客数 (人)	108,000
砂川スイートロード協議会主催事業 参加人数(人)	465

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

総合戦略の効果検証に際して、その妥当性・客観性を担保するため、外部有識者等の参画を得て実施する。

外部組織は、砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定した目標数値の検証・評価及び必要に応じて施策の見直しについて提言を行う。

【外部組織の参画者】

新砂川農業協同組合、砂川観光協会、砂川商工会議所、砂川建設協会、砂川市校長会、砂川金融協会、砂川市町内会連合会、砂川地区連合会、砂川青年会議所

【検証結果の公表の方法】

砂川市ホームページ

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 30,617千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日（3ヵ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

- (1) スイートロード協議会主催事業及びふるさと名物等を活用した観光振興勉強会

事業概要：スイートロード協議会が主催するメイン事業として9年前から市内の菓子店やカフェのスイーツが一堂に集まるお菓子のお祭り「スイーツフェスタ」を開催しており、その他菓子店を講師にしたお菓子づくり教室やパンフレットやのぼりを作成しPR事業を実施している。また、本年1月に中小企業基盤整備機構から講師を招き、砂川スイートロード協議会、青年会議所、クリエイター、女性グループ、地域おこし協力隊、観光協会、行政職員等33名が集まり、勉強会を開催した。地域資源を活用したまちづくりについて、講演やグループワークを通じて理解を深めるとともに、協力して実施していくための意思疎通を図り、観光コンセプトを策定した。

実施主体：北海道砂川市

事業期間：平成28年度～

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

【検証方法】

総合戦略の効果検証に際して、その妥当性・客観性を担保するため、外部有識者等の参画を得て実施する。

外部組織は、砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定した目標数値の検証・評価及び必要に応じて施策の見直しについて提言を行う。

【外部組織の参画者】

新砂川農業協同組合、砂川観光協会、砂川商工会議所、砂川建設協会、砂川市校長会、砂川金融協会、砂川市町内会連合会、砂川地区連合会、砂川青年会議所

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
観光入込客数 (人)	1,234,000	10,000	20,000	78,000
砂川スイートロード協議会主催事業 参加人数(人)	1,335	100	150	215

	KPI増加分の累計
観光入込客数 (人)	108,000
砂川スイートロード協議会主催事業 参加人数(人)	465

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年度、砂川市ホームページにて公表する。